

サステナビリティボンド レポート

本サステナビリティボンドの償還期限まで、資金充当状況レポート
およびインパクト・レポートを年次で開示します。

資金充当状況レポート (23年3月末)

マテリアリティ	適格プロジェクト	充当予定金額 (億円)	23年3月末までの充当金額 (億円)
食と健康 の課題解決への 貢献	ニュアルトラ社（アイルランド）の株式取得	43	43
気候変動への 適応とその緩和	タイ味の素社カンペンベツ工場におけるバイオマスコジェネレーション設備導入	50	50
気候変動への 適応とその緩和	つばめ BHB 社への出資（アンモニアオンサイト生産技術研究開発）	7	7
	合計	100	100

インパクト・レポート (23年3月末)

対象プロジェクト	アウトプット (プロジェクトの進捗・結果)	アウトカム (課題解決に伴う効果)	インパクト (アウトカムから発現する効果)
ニュアルトラ社（アイルランド）の株式取得	<ul style="list-style-type: none"> 味の素グループの独自素材を活用した商品の開発を推進中。 FY22-23は、展開地域をテストマーケティングレベルからはじめ、FY24-25での拡大を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 発売されたONS製品の数：2品目 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の健康をサポート及びQOLの向上 ONS製品の味の向上、バラエティーの拡充
タイ味の素社カンペンベツ工場におけるバイオマスコジェネレーション設備導入	<ul style="list-style-type: none"> 2020年8月に土地の造成を開始し、2022年3月工事完了、6月より設備の試運転を実施。また、8月よりボイラー運転、発電機運転開始。（プロセスへの供給開始） 	<ul style="list-style-type: none"> バイオマス原料使用による試運転により温室効果ガスを一部削減(Scope2)。カンペンベツ工場のScope2温室効果ガス約35%削減を再生エネルギー証書購入から実質的な抑制にシフト予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動緩和に資する温室効果ガス排出量抑制 【FY22実績: 19%削減 (対FY18)】 【FY25: 30%削減 (対FY18)】 【FY30: 50%削減 (対FY18)】 (スコープ1、2 総量)
つばめ BHB 社への出資（アンモニアオンサイト生産技術研究開発）	<ul style="list-style-type: none"> 日本国内にてオンサイトアンモニア生産の実証機を1件受注(2025年にアンモニア生産開始予定)。本受注を先行事例としてオンサイトアンモニア生産の実用化に向けた検証を継続。 	<ul style="list-style-type: none"> 地産地消によるアンモニア安定調達・供給の実現(温室効果ガス削減効果は原料水素との組み合わせによる) 	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動緩和に資する温室効果ガス排出量抑制 【FY22実績: 19%削減 (対FY18)】 【FY25: 30%削減 (対FY18)】 【FY30: 50%削減 (対FY18)】 (スコープ1、2 総量)